

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 12 月 13 日(2022.12.13)

【公開番号】特開 2021-94115(P2021-94115A)
 【公開日】令和 3 年 6 月 24 日(2021.6.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-028
 【出願番号】特願 2019-226033(P2019-226033)
 【国際特許分類】
 A 63 F 7/02(2006.01)
 【FI】
 A 63 F 7/02 315 A

10

【手続補正書】
 【提出日】令和 4 年 12 月 2 日(2022.12.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

20

複数の装飾図柄の変動表示を実行可能に構成され、遊技結果に応じた表示態様で前記複数の装飾図柄を停止表示可能な図柄表示手段と、
前記装飾図柄の変動表示中に、演出を実行可能な演出実行手段と、
大入賞口を開閉可能に構成された特別電動役物と、を備え、
前記大入賞口を開閉する当り状態を制御可能な遊技機であって、
前記当り状態を経由することなく移行可能な特定状態を有し、
前記特定状態に制御されることが予定されている場合にのみ特定演出を実行可能に構成され、
前記装飾図柄の変動表示は、少なくとも一つの前記装飾図柄が最初に停止動作を開始したときから全装飾図柄が停止するまでの停止動作期間が異なる複数の停止動作パターンを実行可能であり、
実行される演出に応じて、前記停止動作パターンが異なる前記装飾図柄の変動表示を実行可能に構成された、
 ことを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0006
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0006】

40

本発明の上記目的は、下記的手段によって達成される。
 (1) 複数の装飾図柄の変動表示を実行可能に構成され、遊技結果に応じた表示態様で前記複数の装飾図柄を停止表示可能な図柄表示手段と、
前記装飾図柄の変動表示中に、演出を実行可能な演出実行手段と、
大入賞口を開閉可能に構成された特別電動役物と、を備え、
前記大入賞口を開閉する当り状態を制御可能な遊技機であって、
前記当り状態を経由することなく移行可能な特定状態を有し、
前記特定状態に制御されることが予定されている場合にのみ特定演出を実行可能に構成さ

50

れ、

前記装飾図柄の変動表示は、少なくとも一つの前記装飾図柄が最初に停止動作を開始したときから全装飾図柄が停止するまでの停止動作期間が異なる複数の停止動作パターンを実行可能であり、

実行される演出に応じて、前記停止動作パターンが異なる前記装飾図柄の変動表示を実行可能に構成された、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0677

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0677】

そして、具体的な予告演出（ここでは、ステップアップ演出 A ～ C のいずれか）が決定されると、今回の演出シナリオに関連する装飾図柄の変動パターンが決定される。ステップアップ演出 A ～ C は、その演出内容に応じて演出実行時間があらかじめ定められており、たとえば、1 段階用のステップアップ演出 C は 9 秒、2 段階用のステップアップ演出 B は 10 秒、最終段階（3 段階）まで発展するステップアップ演出 A は 12 秒という様に定められている。そこで、今回の予告種別抽選により、たとえば、ステップアップ演出 C（演出実行時間が 9 秒）が決定された場合は、装飾図柄演出として、停止動作ロングを伴う装飾図柄演出が決定され、ステップアップ演出 B（演出実行時間が 10 秒）が決定された場合は、装飾図柄演出として、停止動作ミドルを伴う装飾図柄演出が決定され、ステップアップ演出 A（演出実行時間が 12 秒）が決定された場合は、装飾図柄演出として、停止動作ショートを伴う装飾図柄演出が決定される。これにより、図 4 4 ～ 図 4 5 に示す装飾図柄演出が実現される。たとえば今回の変動パターンが通常変動 13 s であった場合には、図 4 4 に示すような装飾図柄演出が実現されることになる。

20

30

40

50